

函館工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	スポーツ科学Ⅳ		
科目基礎情報								
科目番号		0068		科目区分	一般 / 選択			
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科		社会基盤工学科		対象学年	4			
開設期		後期		週時間数	1			
教科書/教材								
担当教員		浦田 清						
到達目標								
競技としてのバレーボールもしくは羽球の基本技術に加えて、ルール、ポジション、プレーの知識を理解し、試合で応用できるようになる。体力測定を通して体力の理解と自己の体力レベルに合った運動処方を行うための知識を理解し、実践できるようになる。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		標準的な到達レベルの目安に加えて、筆記試験、実技試験、課題で8割以上の点を取る		授業へ遅刻、欠席、見学することなく安全に注意し集中して熱心に授業に取り組む 筆記試験、実技試験、課題で6割の点を取る		遅刻、欠席、見学が比較的多く、授業に集中しない又は熱心に取り組まない。筆記試験、実技試験、課題で6割以下の点を取る		
学科の到達目標項目との関係								
函館高専教育目標 A								
教育方法等								
概要		これまでの授業内容からバレーボールもしくは羽球をとりあげ、競技するためのルールやポジション、プレーの知識を座学で講義する。そのうえでチーム分けして実技でチーム練習を行う。 受講者の人数、男女の比率によって実施する種目を決定する。						
授業の進め方・方法		上記概要を実技14時間、講義1時間で学習する。 実技試験（30点）、出欠・見学・授業態度（60点）、課題（10点）で評価する。また、次に該当するような授業態度（熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルールを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等）があった場合は、程度によって減点する。						
注意点		出席、態度も重視する。体調に気を付け毎時間、怪我のないように集中して授業に臨むこと。 講義で使用するプリント等は試験の内容となる。 1回の授業は50分+50分の内容となっている。						
授業の属性・履修上の区分								
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容			週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週						
		2週						
		3週						
		4週						
		5週						
		6週						
		7週						
		8週						
	4thQ	9週	ガイダンス バレーボールもしくは羽球			今年度の授業の要点を理解できる		
		10週	バレーボールもしくは羽球			バレーボールもしくは羽球の技術体系、ルール、フォーメーション、基本プレーなどの知識を理解す		
		11週	バレーボールもしくは羽球			バレーボールもしくは羽球の技術体系、ルール、フォーメーション、基本プレーなどの知識を理解する		
		12週	バレーボールもしくは羽球			グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する		
		13週	バレーボールもしくは羽球			グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する		
		14週	バレーボールもしくは羽球			グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する		
		15週	バレーボールもしくは羽球			グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する		
		16週	バレーボールもしくは羽球			実技試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	筆記試験	課題	出欠・見学・態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	40	0	10	50	0	0	100	
基礎的能力	40	0	10	50	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	